みなさまの健康と心の支えに ——
新潟県厚生農業協同組合連合会 広報誌

支え心 Sasaeni

ご自由にお持ちください

支えに 2020年1月発行

Vol.13

特集

県内15病院より新年のご挨拶

JAグループ新潟をご存知ですか?

折り紙脳トレ

みなさまの健康と心の支えに
新潟厚生連

JAの生命総合共済
なないろデザイン

予定利率変動型年金共済
ライフロード

自分で準備する将来の年金保障!

ポイント1 年金額の増加が期待でき、一度増加した年金額は減りません!※1

ポイント2 「個人年金保険料控除」が受けられます!※2

ポイント3 医師による診査は必要なく、簡単な告知でお申し込みいただけます!

ポイント4 NEW 年金支払開始年齢などの拡大でライフプランに応じた柔軟な保障設計ができるようになりました!

ご契約例　男性　払込方法:月払い(月々1万円プラン)、定期年金10年タイプ、60歳共済掛金払込終了、60歳年金受取開始、当初5年間の予定利率※3 0.5%

加入年齢	共済掛金合計	年金受取総額(6年目以降0.75%の場合)※4 ※6	年金受取総額(6年目以降1.47%の場合)※5 ※6
20歳	480万円	531万円	626万円
30歳	360万円	383万円	436万円
40歳	240万円	247万円	271万円

(2019年4月現在)

※1 予定利率の推移によっては、年金額が増加しない場合があります。 ※2 2019年1月末現在の法令等に基づきます。なお、所定の条件を満たし、税制適格特約を付加している場合に限ります。 ※3 予定利率とは、共済掛金積立金を積み立てる際に適用されるあらかじめ定められた利率のことです。当共済に適用される予定利率は、ご契約当初5年は固定ですが、ご契約6年目以降は毎年見直されます(最低保証予定利率0.75%)。なお、ご契約時の予定利率は毎年設定されるため、ご契約時期によって適用される予定利率が異なり年金受取総額が変更となる場合があります。また、予定利率は共済掛金積立金にかかるものであり、お払込みいただいた共済掛金全体に対するものではありません。したがって、共済掛金全体に対する利回りは予定利率よりも低くなります。 ※4 6年目以降最低保証予定利率(0.75%)で推移し、年金受取期間中に全期間毎年年金をお受取りされた場合の試算になります。 ※5 6年目以降2019年度適用の予定利率(1.47%)で推移し、年金受取期間中に全期間毎年年金をお受取りされた場合の試算になります。なお、あくまでも試算であり、将来の年金のお受取り額をお約束するものではありません。 ※6 万円未満切捨て表示としています。

●ご加入にあたりましては、お近くのJA(農協)へお問い合わせください。●この広告は概要を説明したものです。ご契約の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

はじめて共済　検索
http://shiryo.ja-kyosai.or.jp
■JA共済ホームページアドレス https://www.ja-kyosai.or.jp

本サイトから「ひと・いえ・くるま」の各共済の資料請求・掛金試算ができます。

JA共済相談受付センター(JA共済連 全国本部)
電話番号:0120-536-093
受付時間:9:00~18:00(月~金曜日)
9:00~17:00(土曜日)
※日曜日、祝日および12月29日~1月3日を除きます。
※メンテナンス等により予告なく変更する場合があります。
※電話番号は、おかけ間違いのないようご注意ください。

くらしの保障、相談するなら JA共済

耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ

19481050149

県内15病院より新年のご挨拶

JA新潟厚生連
代表理事理事長　田中 納次

新年明けましておめでとうございます。
日頃より、本会の運営に格別のお引き立てを賜り、
心より御礼申し上げます。

本会は、上・中・下越及び佐渡地区の県下一円に、15病院をはじめ、診療所、介護老人保健施設、訪問看護ステーションなどを有し、地域の皆様が健康で心豊かな暮らしができるよう、医療・保健・福祉サービスの提供に努めております。

本会の理念である「信頼と協同で築く地域の健康」の言葉を胸に、これからも、より多くの皆様から愛され、信頼される病院・施設となるよう一層努力してまいりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、医療や介護を取り巻く情勢は、大きな変革の時を迎えております。急激な少子高齢化が進む2025年への対応に向け作成された「地域医療構想」の実現のため地域で検討を進めている中、国は昨年9月に、病院機能の再検証を求める公立・公的病院として全国424病院、新潟県は本会病院を含む22病院を公表しております。

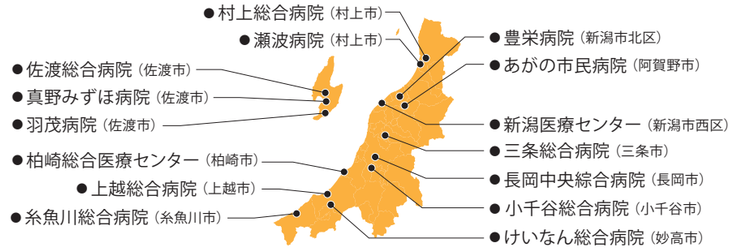
今後は国の施策や地域の実情を見据えた中で、公的医療機関として地域に必要な医療体制を検討し、日々変化する医療環境に対応できるよう取り組んでまいります。

また、県北の基幹病院として村上総合病院の機能充実のため移転新築工事を県、地元行政をはじめ、各JA及び関係者の皆様からのご理解、ご協力のもと本年12月開院を目指し進めております。

開院後の新病院も含め、「みなさまの健康と心の支えに」のスローガンのもと、これからもJA組合員及び地域住民の皆様のニーズやご期待にお応えしたいと考えておりますので今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

最後に、この1年が皆様にとって素晴らしいものでありますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

県内15の医療施設が地域の皆さまの健康と心を支えます



糸魚川総合病院

病院長
樋口 清博

新年明けましておめでとうございます。当院は、糸魚川地域の基幹病院として「具合が悪くなった時に安心してかかることができ、入院もできる病院」「急性期を脱してリハビリなど以前の生活に戻るための準備のできる病院」としての機能を充実させることを目標としています。更に、ひとにやさしい医療を提供するために、まずは職員が楽しく意欲を持って働ける環境を作ることが必要であり、その実現に向け努力しようと考えています。

【住所】糸魚川市大字竹ケ花457-1　【電話】025-552-0280

糸魚川で安心して
住み続けてもらうために。

1938年からの歴史がある病院です。より充実した医療サービスと快適な環境づくりのため、1991年12月に現在地に移転新築。1993年に老人保健施設を併設、2007年には産婦人科病棟を改修し、赤ちゃんから年配の方まで地域の皆様の健康と福祉を支えています。救急・災害医療から家に戻るまでの治療にも力を入れる、地域の基幹病院です。

けいなん総合病院

病院長
政二 文明

明けましておめでとうございます。昨年は、経験したことのないほどの規模の自然災害が、地球規模で繰り返し発生した1年でした。地球温暖化はさておき、今後も続くと言われる災害の全世界の産業・経済への影響は計り知れないほど深刻なものです。このあおりを受けて、根本的にはサービス産業である医療は縮小へ向かうことはまちがいありません。そんな逆風の中にあっても、地域に良質な医療と福祉を提供し、そしてなによりも職員の生活を守るために、職員一丸となって努力を惜しまない所存です。本年もかわりませずご支援のほどお願い申し上げます。

【住所】妙高市田町2-4-7　【電話】0255-72-3161

地域住民に愛される、
医療と福祉の拠点に。

1938年に頸南医療購買利用組合連合会頸南病院として開設以来、地域医療の重要な役割を担ってきました。2002年に現在の病院を新築し、翌年に介護老人保健施設「はねうまの里」を開設。医療・保健・福祉が一体となった総合病院として、地域の方々に親しまれる病院運営を実践しています。

上越総合病院

病院長
篭島 充

新年おめでとうございます。正月は読書三昧でした。最近印象的だったのは、「サピエンス全史」です。人間は言葉を創り、物語を紡ぎ、皆でそれを信じた。だから協力ができて、万物の霊長たりえたと述べています。人には自分の存在を意味づけてくれるような物語が必要です。昔ながらの価値観が崩れつつある昨今はなおさらです。医療の世界も然り。国策がどうあれ、厚生連病院で働くことの意味、皆が信じられる物語を探して、今年もたくさん本を読もうと思っています。

【住所】上越市大道福田616　【電話】025-524-3000

人にやさしく、
地域に開かれた病院を目指して。

1937年に上越医療購買連合会上越病院として開設。1963年に新潟県厚生連に合併し総合病院の認可を受け、2006年4月に現在地へ移転新築しました。急性期病棟を保有し、救急室をはじめ各検査機能を集約。ヘリポートも設置し、地域救急医療の一翼を担っています。

柏崎総合医療センター

病院長
相田 浩

【住所】柏崎市北半田2-11-3 【電話】0257-23-2165

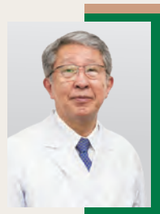
患者さん本位の
ぬくもりのある医療を提供。

1937年に北越医療購買利用組合刈羽郡病院として開設され、1957年に総合病院の認可を受けました。1991年に移転新築し、柏崎・刈羽圏唯一の総合病院として救急医療を担うほか、災害拠点病院にも指定されています。「患者さん本位の医療の提供」をモットーに、患者さんにとって最善の医療を追求しています。

明けましておめでとうございます。

令和元年に病院長職を拝命し、関係各位より多大なるご支援・ご指導をいただきましたこと感謝申し上げます。厳しい状況は続きますが、飛躍できるよう精進をして参りたいと思います。患者さんが今後も最善の医療を受けられるように、すべての職種の職員がいきいきとして働き続けられる職場作りを目指したいと思います。今年もよろしくお願い致します。

小千谷総合病院



病院長
髙橋 達

【住所】小千谷市大字平沢新田111 【電話】0258-81-1600

だれもが安心して受診できる
身近な病院へ。

2017年4月に厚生連魚沼病院と公益財団法人小千谷総合病院が統合して誕生した病院です。急性期から慢性期医療まで地域の中核医療機関としての役割を担います。また人工透析や糖尿病などの慢性期疾患の継続的な治療と、小千谷地域の安心安全な出産と子育てを医療面から支援します。

皆様明けましておめでとうございます。早いもので、旧魚沼病院と旧小千谷総合病院が統合し、平成29年4月に小千谷市平沢の地に新病院が開院して2年目になります。新病院の運営につきましては日頃より皆様方から格別のご支援、ご助力を戴いておりますことを心より感謝申し上げます。小千谷市ならびに周辺各市町村の医療と介護の拠点として皆様方のお役に少しでも立てるよう、職員一同努力して参りますので、これからも当院をどうぞよろしくお願い致します。

長岡中央綜合病院

病院長
富所 隆

【住所】長岡市川崎町2041 【電話】0258-35-3700

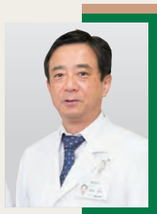
高度専門医療、救急医療機能を持つ
中越エリアの中核病院。

1933年に中越医療組合病院として開設。2005年に現在の場所に移転開院し、最新鋭のリニアック（放射線治療機器）、手術室等の高度医療機能を備え、先端医療技術の研鑽に努めています。災害時対応も可能なヘリポートも保有しています。2006年に「がん診療連携拠点病院」に認定され、地域のがん治療の先進的役割を担っています。

明けましておめでとうございます。当院では昨年ＨＣＵ病棟の開設や、放射線治療棟の新設を行い、がん拠点病院として診療機能充実に励みました。そんな中、昨年末に来日されたローマ教皇は、反核と共に、人命が最も大切に扱われなければいけないとのメッセージを発せられました。あの言葉は、医療に従事する私たちにとって何よりの励ましになったように感じました。農民運動の一つとして、昭和10年に開設した長岡中央綜合病院。当時の思いを忘れることなく、昭和・平成・令和と繋ぎ、これからも地域医療に貢献して行きたいと願っています。

国民中　飢えて食無く　病て云する無き
階層を有するは　文明国の恥辱にして
我国家　理想の冒涜なり

三条総合病院



病院長
神田 達夫

【住所】三条市塚野目5-1-62 【電話】0256-32-1131

地域の皆さんの
健康と幸福のために

1933年に開設した南蒲原郡医療利用組合の診療所が三条総合病院の原点です。1952年に厚生連三条病院となり、その5年後に総合病院の認可を受けました。県央約20万人の診療圏の中程に位置しており、地域のニーズに応えた医療設備を整えるとともに、感染対策にも力を入れています。

新年明けましておめでとうございます。令和元年は県財政の悪化と、それに伴う県央基幹病院計画の見直し議論に振り回された1年でした。県央地域にとって基幹型病院が必要なことは論を俟ちませんが、それと同時に、統合のその日まで当院が地域の中核病院としての役割をしっかりと果たしてゆくことが何よりも重要です。信頼できる病院であり続けるよう、職員一同、頑張りますので、新しい年におきましても三条総合病院をよろしくお願い致します。

新潟医療センター

病院長
吉澤 弘久

【住所】新潟市西区小針3-27-11 【電話】025-232-0111

安全で質の高い医療を提供し、
地域医療を支えます。

2009年10月に博医会「新潟こばり病院」から移譲を受けて開院しました。「安全で質の高い医療の提供」「地域が必要とする安心と満足の得られる医療・保健・福祉の充実」を基本方針に掲げ、職員一同研鑽に努めています。救急医療活動や在宅医療の支援、老人保健福祉の支援、勉強会など、さまざまな面から地域医療をバックアップしています。

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては新たな気持ちで、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、皆様との交流の場である病院祭には例年より遙かに多い約２５００人もの方に参加頂き、大盛況となりました。地域の病院、身近な病院として、より意識して頂いていることに感謝申し上げます。今年も少しでも皆様のお役に立てる様、職員一同頑張って参ります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

豊栄病院

病院長
宮島 透

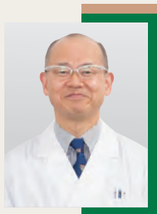
【住所】新潟市北区石動1-11-1 【電話】025-386-2311

充実した医療・
福祉・保健サービスを提供。

新潟市北区で唯一の一般病院として、医療・福祉・保健の各事業を積極的に推進することを理念としています。1997年9月に現在地に移転新築し、高齢化社会に対応した体制をとっています。また健診センターを設け、事業所健診や人間ドックを実施するなど、予防事業にも力を入れています。

新年明けましておめでとうございます。豊栄病院は、当地域の住民の皆様方に信用され・愛される病院を目指します。高齢者の増加に伴い、ニーズの高い認知症の対応として、昨年〝もの忘れ外来〟および〝心療内科外来〟を新設しました。また今年１月付けで健診・人間ドック部門に常勤医１名を増員し、住民の皆様の健康維持・管理にさらに貢献したいと思います。今後も地域に必要とされる医療を提供し続けたいと考えています。本年もよろしくお願い致します。

あがの市民病院



病院長
藤森 勝也

心新たに、新しい年をお迎えのことと存じます。皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年度にあたり、あがの市民病院では、4つのセンター機能「消化器病センター、糖尿病・生活習慣病予防治療センター、骨関節疾患センター、地域医療・連携センター（訪問看護ステーション、訪問リハビリ、居宅サービス事業を含む）」と、透析、呼吸器診療、腹腔鏡手術など16診療科による専門診療を充実させます。急性期、地域包括ケア病床を使った回復期、介護医療院・介護老人保健施設・在宅医療の慢性期までの事業をシームレスに提供します。さらに健診部門を充実させ、医療、介護、保健・予防まで一体的に提供する地域包括医療ケアの中心として活動していきます。今年度も、地域住民の皆様のお役にたてる病院を目指し、新潟厚生連本部、阿賀野市と連携・協力して運営してまいりますので、どうぞ温かい目でお見守りいただき、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

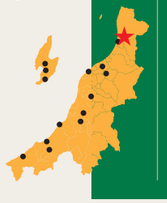
【住所】阿賀野市岡山町13-23　【電話】0250-62-2780

良質で心温まる医療を地域の皆さんへ。

指定管理者制度導入による公設民営化に伴い、阿賀野市からの要請を受けて2010年10月より、JA新潟厚生連が事業運営を行っています。長年地域で親しまれてきた水原郷病院から、2015年10月に「あがの市民病院」として生まれ変わりました。阿賀野市内で唯一の総合病院として、救急医療、災害時緊急医療、地域住民の健康管理、訪問ケア、小児・産科医療体制の確保など、地域に必要な医療を幅広く提供しています。

村上総合病院

病院長
林 達彦



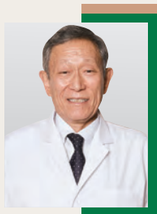
今年は、当院にとって過去およそ50年間で最大のイベントである移転新築が行われ、12月には新病院が開院予定です。建築は順調に経過しており、日に日に完成形に近づく様子は、私のような鈍感なものでも心が引き立ちます。これもひとえに関係諸機関、諸氏のみなさまのおかげであり心より感謝申し上げます。私たち村上総合病院職員一同にとっては、新病院でどのような医療を行うのかが最も重要であり、そのためのCan，Will，Mustを考えながら準備を進めて参りたいと存じます。

【住所】村上市田端町2-17　【電話】0254-53-2141

住民の日々の健康を守りながら、救急医療にも尽力。

当院は、医療に恵まれない農村のために「県農業会村上診療所」として1945年に開設したのが始まりでした。現在は県北エリアの基幹病院として、充実した高度医療の提供と、患者さんに信頼される病院づくりに取り組んでいます。また、県の災害拠点病院、救急指定病院として救急医療の現場でも活動しています。

瀬波病院



病院長
村山 裕一

新年明けましておめでとうございます。当院は県北村上市で慢性期を中心に診療を行っている92床の小さな病院です。基幹病院である村上総合病院の後方病院として重要な病院と自負しております。少子高齢化が進み、人口減ではありますが、介護力に乏しい当地域では介護施設への入所に時間がかかります。待機のために入院してこられる方や介護施設では対応できない方が大勢おられ、病室はほぼ満床の状態が続いています。当院はリハビリに重点を置き、入院リハビリの他、通所リハビリや訪問リハビリに力を入れています。リハビリの必要な方はまだ大勢おられる事から、今後もリハビリを中心とした診療を継続していきたいと考えております。

【住所】村上市瀬波温泉2-4-15　【電話】0254-50-1900

車椅子で入れる「足湯」のある病院。

2006年11月に新潟県より移譲を受けて開院しました。村上総合病院との役割分担による病院間連携を密にし、慢性医療およびリハビリテーションの充実を図っています。瀬波温泉街の一角にあり、源泉を引いているのも特徴です。2009年には車椅子の方も入れる足湯「しおさい」をオープンし、患者さんやご家族、地域の方々にご利用いただいています。

佐渡総合病院

病院長
佐藤 賢治

少子高齢化が突き進み、医療従事者の偏在など医療の地域格差がどんどん拡がる現代社会、佐渡はその最先端にいます。２０１８年３月に行政・医療・介護・福祉関係者が一堂に集まって設立された佐渡地域医療介護福祉提供体制協議会は、超高齢社会における新たな社会保障の姿を作り出しつつあります。これからの日本に大きく貢献するこの取り組みの中で、佐渡総合病院は中心的役割を担います。みなさまのご支援をお願いします。

【住所】佐渡市千種161　【電話】0259-63-3121

島民の健康を守る基幹病院として。

1935年に佐渡郡医療利用組合佐渡病院として開設され、1957年に総合病院の認可を受けました。2011年11月に新築移転し、佐渡島内の基幹病院として、ここで完結できる地域医療の整備、急性期医療の充実に取り組んでいます。医療を通じて、佐渡島民の「生きがいある人生づくり」に貢献します。

真野みずほ病院

病院長職務代行
平野 ゆかり

元号も改まって最初の新年を穏やかに迎えられたことをお慶び申しあげます。高齢社会、ストレス社会の今日、佐渡市のみならず、新潟県厚生連唯一の精神科病棟を有する当院の使命感はますます重くなっていくものと感じます。島内厚生連の各病院と連携して、朱鷺の舞う美しい佐渡の皆様の健康を守り、豊かな生活の一助となれるよう歩んでいきたいと思います。ＯＮＥ ＴＥＡＭ，ＯＮＥ ＳＡＤＯでやっていきたいと思います。今年もよろしくお願い致します。

【住所】佐渡市真野73　【電話】0259-55-1122

患者さんの安らぎと人権を守る。

2003年に厚生労働省より経営移譲を受けて開院した、佐渡島唯一の精神科病院です。自然に恵まれた静かな環境の中、患者さんに安らぎを感じていただき、診察・入院から社会復帰に向けたケアに職員一同で取り組んでいます。地域の医療機関や福祉施設とも密に連携しています。

羽茂病院

病院長
永田 大志

現在、羽茂病院は令和2年度からの『南佐渡地域医療センター化構想（仮称）』に向け準備を進めております。これまでの高齢者の診療を行う慢性期医療から、医療福祉介護トータルとして地域住民の健康を守るという、羽茂病院の〝進化系〟と捉えております。このセンター化構想が実現すれば南佐渡のみならず、全国の医療過疎地域における地域医療構想を基にしたモデル医療機関となるものと考えております。今後も我々は南佐渡地域の皆様のお役に立てるようスタッフ一同しっかりと職務に邁進してまいりますのでよろしくお願い致します。

【住所】佐渡市羽茂本郷22　【電話】0259-88-3121

佐渡南部地区に暮らす人々の医療と福祉の拠点に。

1936年に羽茂村産業組合佐渡病院分院羽茂診療所として開設されました。1952年に羽茂村が新病院を建設し、その後、新潟厚生連に経営委託され現在に至っています。社会福祉法人小佐渡福祉会の特別養護老人ホーム「はもちの里」も隣設しており、佐渡南部の医療・福祉の拠点となっています。

JA新潟厚生連とは（新潟県厚生農業協同組合連合会）

地域医療に貢献し、皆さまの健康をサポートします。

地域の皆さまの健康で心豊かな暮らしを築くため、
医療施設、介護老人保健施設、健診センター、
看護専門学校ほかの施設を運営しています。

事業内容

医療事業

新潟県厚生連は現在、15の病院を運営しています。地域の特性を生かした病院作りを目指しています。

保健事業

人間ドックのほか、生活習慣病巡回健診による各種検診、骨粗鬆症検診などにも力を入れています。

福祉事業

高齢者のため、在宅医療の充実を目指したものです。福祉相談、訪問看護と訪問リハビリなどに取り組んでいます。

JAグループの組織

JAグループ新潟をご存知ですか？

JA（農協）は、組合員農家の農業経営と生活を守り、よりよい地域社会を築くことを目的としてつくられた協同組合です。

この目的のためにJAは、組合員の農業経営や生産技術についての指導や、生活についてのアドバイスを行うほか、生産資材の共同購入、農産物の共同販売、農業生産や生活に必要な共同利用施設の設置などを行っています。また、貯金の受け入れや融資を行う信用事業や万一の場合に備える共済事業など、さまざまな事業や活動を行っています。

そして、農山村地域における医療の確保を原点に、地域におけるニーズに対応しながら、健康増進活動の促進、良質な医療の提供、急速な高齢化へ向けての対応等、組合員および地域住民の方が日々健やかに過ごせるように医療・保健・高齢者福祉の分野で各地域において積極的に事業を展開しています。

※JAの組合員資格には、正組合員（農家）と准組合員があります。このため、農家でない人でも、それぞれのJAで定めた加入手続きに従い、出資金を払い込めば准組合員として組合員資格を得てさまざまな事業を利用することができます。

JA共済連新潟とは
（全国共済農業協同組合連合会 新潟県本部）

ごあいさつ　県本部長　渡邊 弘

地域の皆様に「安心」と「満足」をお届けします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。JA共済連は、救急医療およびリハビリ診療の充実を図ることによる救命や交通事故被害者の救命や交通事故身障者の社会復帰を促進することを目的として、JA関連医療機関の救急医療機器等の購入助成を行ってまいりました。今後も厚生連病院への救急医療機器等購入助成を通じて、地域に貢献してまいります。

「ひと・いえ・くるまの総合保障」で
地域に安心をお届けします。

JA共済は、死亡、入院、火災、自然災害、自動車事故など、不測の事故が生じた場合に、共済金を支払うことによって組合員・利用者の生活の安定をはかる、「相互扶助（助け合い）」の保障の仕組みです。JA共済連は、JAと連携・協調しながら共済事業を総合的にバックアップしています。

事業内容　保障事業

保障の仕組開発、普及推進活動の企画・支援、審査、事故の際の損害調査や支払査定、共済金支払のための資産運用などを担当。東京都に全国本部、47都道府県に都道府県本部を設置しています。

都道府県本部では、地域特性に応じた戦略の策定や、窓口として組合員・利用者の皆さまと接するJA職員に対する直接的なサポートなどを行っています。

JA全農にいがたとは
（全国農業協同組合連合会 新潟県本部）

ごあいさつ　県本部長　安藤 稔

生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。JAグループ新潟の自己改革の更なる成果が求められている中、本会は「地域の活性化」の取り組みとして、生活事業を通じた元気な地域社会づくりを支援してまいります。また、地域医療サービスの体制整備の一助となるよう医療施設の設計提案や施工管理に取り組んでまいります。

本年も何卒、ご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

地域の「営農」と「生活」を支援し、
元気な産地づくりに取り組みます。

JA全農にいがたは、地域農業の発展と組合員の経済的・社会的地位の向上、明るく活力ある地域社会づくりをめざし、県内JAとともに一層の努力をしてまいります。

事業内容　販売事業　購買事業

農家組合員が大切に育てた農畜産物の販売や、農業生産に必要な肥料や農業機械などの生産資材、暮らしを豊かにする生活用品の供給などの事業を展開しています。

また、「365日、新潟産。」を統一キャッチコピーとした県産農畜産物の宣伝活動を積極的に展開しています。

JAバンク新潟県信連とは
（新潟県信用農業協同組合連合会）

ごあいさつ　代表理事理事長　町田 智

農業・地域に貢献し、必要とされる「JAバンク」の実現を目指しています。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年が、皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

農山村・地域で医療サービスを提供する厚生連病院において、施設整備・医療機器取得に際して、私共の資金をご利用いただいており、JA新潟厚生連へのご融資を通じて、微力ながら地域の皆様の健康に貢献させていただいております。

また、健康診断および人間ドック等において、JA新潟厚生連の施設を利用しながら、役職員の健康管理に務めております。

新潟県の豊かな「農業」と「くらし」を
金融面からサポートいたします。

JAバンク新潟県信連は、県内のJA等が会員となり、互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、新潟県を事業区域として、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

事業内容　金融事業

JAの信用事業における本部と地域金融機関の2つの役割を担っています。JAの信用事業における本部とは、県内に23あるJAが展開する諸事業のうち、金融事業をサポートするもので、金融担当職員に向けた研修を企画・運営したり、JAから寄せられる金融関係の様々な照会に対応したりします。地域金融機関は、県内の企業・法人を中心に、貯金（預金）業務、融資業務、為替業務を行っています。

JA新潟中央会とは
（新潟県農業協同組合中央会）

ごあいさつ　代表理事会長　今井 長司

組合員とともに紡ぐ明日の農業・地域・JA

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

中央会とは、地域農業の振興、農業協同組合運動の発展及び会員の健全な発達に貢献することを目的に設立されたJAの機関です。その目的のために、本県の農業振興はもちろんのこと、「食」と「農業」の大切さを伝える取り組みや、厚生連病院と連携のもと、組合員や地域住民を支えるための「農業」の大切さを伝える取り組みや、にJAが行っている健康管理活動や高齢者福祉活動を後押ししています。

協同の力で創る元気な農業と、
豊かな地域社会の実現を目指しています。

新潟県内の23JAや連合会（JAバンク新潟県信連、JA新潟厚生連、JA全農にいがた、JA共済連新潟）を会員に、農政活動、農業振興、法務・会計・労務などの経営支援、教育、高齢者福祉対策、広報など県内JAグループの代表・総合調整機関として、多様な事業に取り組んでいます。

事業内容　支援事業

JA新潟県共通役員室、JAグループ新潟担い手支援室、総務企画部（総務人事課、企画広報課）、組織経営対策部、合併改革推進部、教育部、農業地域対策部（農政営農課、食農くらし対策課）の7つの部署で構成。新潟の食を守り、人々の生活を下支えする機関として、JAグループ新潟のリーダー的な役割を担っており、新潟県の農業の発展と、安心して暮せる豊かな地域社会づくりを目指しています。

指先を使って 折り紙で「脳トレ」!!

指には数百本の末梢神経が集まっていて、
指先を使うとその刺激が直接脳に伝わり、脳の働きが活性化されます。
楽しみながら脳をイキイキ、トレーニングしましょう!

白鳥の箸置き 編 折り方

約3cm×20cmサイズの折り紙をご用意ください。
割り箸の箸袋でも作れます。

あなたの街の「かかりつけ薬局」にお気軽にご相談ください

株式会社 ダイチク
【本部所在地】
〒950-1151 新潟市中央区湖南24-2
TEL 025-288-0228
URL www.ainj.co.jp

株式会社 共栄堂
【本部所在地】
〒950-0162 新潟市江南区亀田大月2丁目5-38
TEL 025-383-1200
URL http://www.kyoueido.net

新潟厚生連 Event Report

けいなん総合病院

開催日:12月6日(金)

クリスマスイベント

「けいなんを考えるプロジェクトチーム」が企画したクリスマスイベントを開催いたしました。今年も職員有志の音楽隊から患者さんに歌のプレゼントを届けました。

佐渡総合病院

開催日:1月6日(月)

賀詞交歓会

病院長による年頭の挨拶と書初めを行います。

令和2年
2月開催予定
講演会・
各種行事

施設名	イベント名	開催予定日	イベント内容
上越総合病院	医療プロフェッショナリズムワークショップ コーディネーター: 上越総合病院 病院長 篭島 充	2月8日(土) 10時～17時	当院にて医療プロフェッショナリズムワークショップを開催いたします。このワークショップは日本専門医機構の共通講習に承認されているもので、専門医資格の取得、更新の際に必要な"共通講習の認定単位"(医療倫理2単位)を取得することができます。ぜひご参加ください。 対象:研修医・指導医・上級医・専攻医 その他、医学生・メディカルスタッフの方も大歓迎です。 お問い合わせ先 THE RESIDENT CIRCLE不識庵 事務局　上越総合病院 教育研修センター 佐藤まで TEL:025-524-3000　Mail:rinsho@joetsu-hp.jp

※詳しくは病院のホームページをご覧ください。

新潟厚生連 職員募集

U・Iターン中途採用募集中 / 薬剤師・看護職(保健師・助産師・看護師・准看護師)・介護福祉士
令和2年度新採用募集中 / 薬剤師・看護職(助産師・看護師)・介護福祉士

新規就労者の支援のため支度金貸与制度を新設しました(令和元年10月1日施行)

○ 薬剤師・保健師・助産師・看護師 / 100万円以内　○ 准看護師・介護福祉士 / 50万円以内

※原則として2年間本会の指定する施設で勤務した場合、返還免除となります。※中途採用者(フルタイム)が対象となります。
※この他詳細は本部人事部までお問い合わせください。

奨学金制度

【薬剤師】① 薬学生奨学貸与金制度　/ 月額10万円・6年間720万円以内
② 薬剤師奨学金返還支援制度 / 最長10年・上限額360万円・月額上限3万円

【助産師】○ 助産師資格取得奨学貸与金制度 / 月額10万円

※この他の詳細は本会ホームページをご確認ください。

JA新潟厚生連HPの▶▶▶
奨学金紹介はこちらから!
http://www.niigata-kouseiren.jp/

【お問い合わせ応募書類送付先】 新潟県厚生農業協同組合連合会 人事部　看護職員にご応募の方は人事部看護師確保対策室
〒951-8116 新潟市中央区東中通一番町86番地109　TEL.025-230-2664(直通)　FAX.025-228-0990　E-mail / jinji@niigata-kouseiren.jp

ご意見・ご感想をお寄せください

本会では、「 患者さんの声 」を病院の経営に反映させることが大切と考えております。皆様からお寄せ頂いた貴重なご意見・ご要望などを積極的に活用しながら、より充実した医療・保健・福祉を提供する体制を整え、患者さんの気持ちに寄り添った心温かいサービスを心がけてまいります。 皆様からのご意見・ご感想は、下記まで電話、FAX、お手紙でお寄せください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報などお寄せいただいた内容は、本会において適切に管理いたします。また、本会からの各種ご連絡、出版物などのご案内などにも利用させていただく場合があります。

新潟県厚生農業協同組合連合会 総務部　〒951-8116 新潟市中央区東中通一番町86番地109　tel.025-230-2662　fax.025-228-0990

支えに

新潟県厚生農業協同組合連合会 広報誌　2020年新年号
〒951-8116 新潟市中央区東中通一番町86番地109　tel.025-230-2661(代表)　fax.025-228-0992(代表)
企画/㈱新潟日報サービスネット　企画・編集・協力/小林 寿・髙澤 綾子